



渋谷区立 代々木 中学校

令和7年10月1日発行

学校だより

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1320121>

「The 35th First Annual Ig Nobel Prizes」から学ぶこと

校長 駒崎彰一

今年も楽しみな・・・この「賞」の季節がやってきました。

9月18日（日本時間19日）に公開された『第35回イグノーベル賞』。

毎年、学校だよりでレポートしています。



「人々を笑顔に、そして考えさせてくれる業績」に対して贈られる「イグノーベル賞」。ノーベル賞のパロディとして1991年に雑誌編集者で会社経営者（当時）のマーク・エイブラハムズ氏によって創設されました。「下品な」とか「不名誉な」を意味する「ignoble」と「ノーベル（Nobel）賞」をかけ合わせた駄洒落で「イグノーベル（Ig Nobel）」と名付けたと言われています。端的に捉えると「大人の自由研究」の世界版といった感じです。毎年10組の研究が9月にアメリカで表彰されています。一風変わった研究、想像力に富んだ研究を表彰し、人々の科学、医学、技術等の学問への関心を高めることを目的としています。とても素敵な「深い学び」のある取組であると感じているとともに、渋谷区の取組む「探究」につながると考え、毎年、受賞論文に目を通しています。

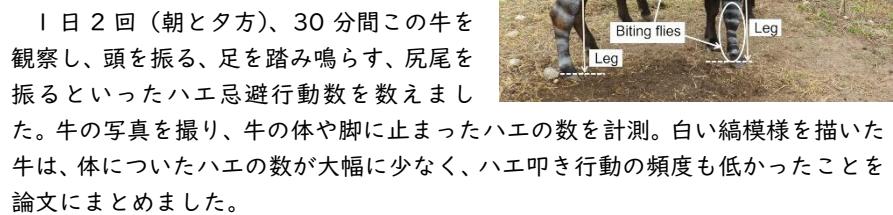
日本人はイグノーベル賞受賞の常連国で、今回も、農研機構（農業・食品産業技術総合研究機構）の研究員である兒嶋朋貴さんと京都大学の研究グループが「生物学賞」を受賞しました。

「Cows painted with zebra-like striping can avoid biting fly attack」シマウマのような縞模様を描いた牛はハエの攻撃を避けることができる <https://journals.plos.org/plosone/article?id=10.1371/journal.pone.0223447#references>

この研究は、シマウマが体のしま模様によって血を吸うハエからの攻撃を防いでいるとする研究結果に注目、家畜の黒毛の牛に白黒の模様を描いて「サシバエ」や「アブ」を防ぐ効果があるかを調べました。

この研究は兒嶋さんが「ある日、テレビ番組でシマウマの縞模様の機能に関する仮説を知った」ことが問い合わせを立てるスタートだったそうです。これがきっかけで、彼はブリストル大学の進化生物学者ティム・カロ氏の研究論文 <https://www.nature.com/articles/ncomms4535#Sec5> に出会います。縞模様は捕食動物から身を隠したり、体を冷やしたり、互いを認識したりするためではなく、害虫を撃退するために進化した可能性が高いことを知ります。

兒嶋さんは、白黒の縞模様の牛の方が害虫を撃退する能力が高いのではないかとの仮説を検証するため、3頭の黒毛和牛に1頭には白い縞模様を、1頭には黒い縞模様を描き、もう1頭は何も描かないよう設定。（シマウマのように縞模様をフリーハンドで描くのに、1頭あたりわずか5分しかかかるないことも発見したことのこと。）



1日2回（朝と夕方）、30分間この牛を観察し、頭を振る、足を踏み鳴らす、尻尾を振るといったハエ忌避行動数を数えました。牛の写真を撮り、牛の体や脚に止まったハエの数を計測。白い縞模様を描いた牛は、体についたハエの数が大幅に少なく、ハエ叩き行動の頻度も低かったことを論文にまとめました。

この研究から黒毛の牛をシマウマのような模様にすれば虫を介した感染症を予防したり虫に血を吸われることによる牛のストレスを軽減したりする効果が期待できるとしています。すでに山形県や岩手県などでは実証実験が行われていて、このうち、山形県小国町では2021年に地元の農家などの協力を得て、検証が行われ、研究結果と同様の効果が確認されたそうです。

「今後、普及すれば殺虫剤等の使用を減らせる可能性があり、薬剤耐性などの問題にも有益なものになり得ると思います。いかに簡単にしま模様を施せるか、長時間維持できるかが普及には肝要だと考えています。いつかそのような手法を開発されてほしいです」と兒嶋さんは語っています。

「ある日のテレビ番組」が「きっかけ」になり、今後の畜産の未来にイノベーションを引き起こす可能性を秘めています。探究の「きっかけ」は何気ない生活の中にあるのかもしれません。

未来的学校

西原キャンパス シン代々木中学校 特集



現校舎 西原一丁目 46 番 1

令和8年（2026年）8月まで

校舎のお別れ会（お別れ FES）開催（予定）後に移転



仮設校舎 西原一丁目 40 番 16

令和8年（2026年）8月から令和11年（2029年）夏以降予定

渋谷区スポーツセンター敷地内に引越し

スクールバスや交通費補助はありません。



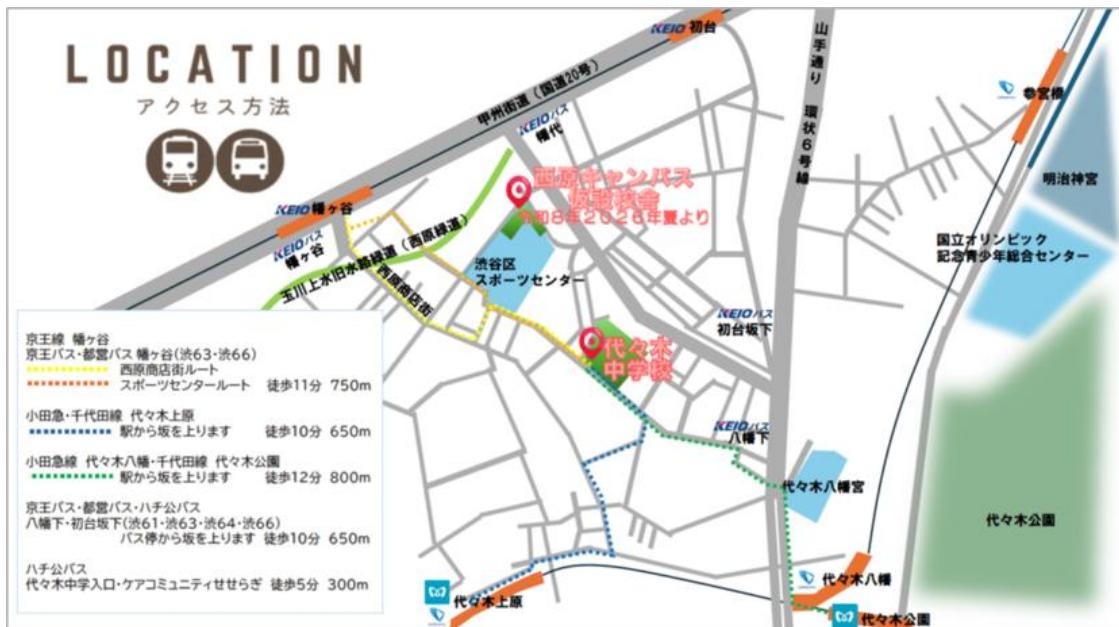
新校舍 西原一丁目 46 番

令和11年(2029年)夏以降 完成予定

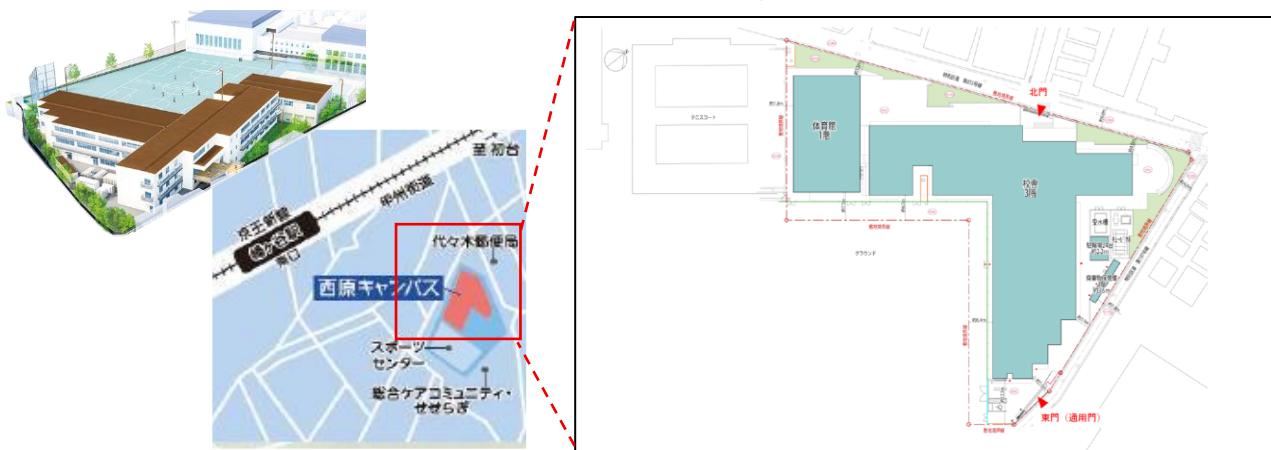
現校舎地に戻ります

【校舎の移行と学年進行】

年度	令和7年 2025年	令和8年 2026年	令和9年 2027年	令和10年 2028年	令和11年 2029年
校舎	現校舎		仮設校舎(西原キャンパス)		
学年 進行	中学校3年→	高校進学			
	中学校2年→	中学校3年→	高校進学		
	中学校1年→	中学校2年→	中学校3年→	高校進学	
	小学校6年→	中学校1年→	中学校2年→	中学校3年→	高校進学
	小学校5年→	小学校6年→	中学校1年→	中学校2年→	中学校3年
	小学校4年→	小学校5年→	小学校6年→	中学校1年→	中学校2年
	小学校3年→	小学校4年→	小学校5年→	小学校6年→	中学校1年



西原キャンパス 仮設校舎について



2階 学びを深めるエリア

玄関は2階になります。

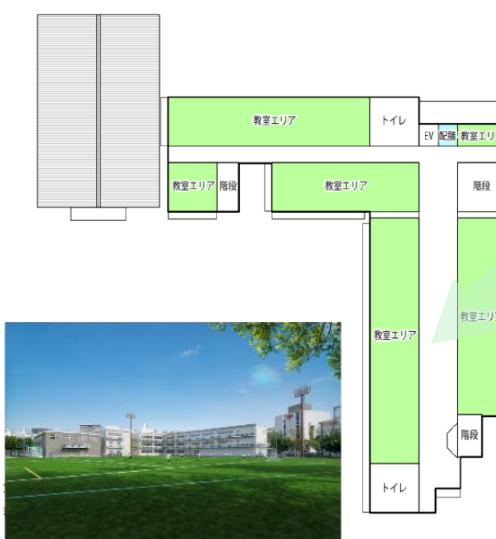
「1足制」で下駄箱がなくなります。

様々な学習スペースを準備して学びを深めるエリアを創設。昇降口近くに保健室を設置。廊下にラーニングコモンズを創設予定。



3階 学びのベースとなるエリア

普通教室を中心に配置予定。教室のサイズは8m×8mの正方形。どの方面でも正面になる構造で、一斉指導だけではない様々な学びに対応できます。



○「未来の学校」を見据えた教育環境の整備

仮設校舎という環境ですが校舎内は未来空間になっていく予定です。これからの学校教育を先取りした校舎になります。西原キャンパスは本校が3年間の使用した後に幡代小学校→西原小学校と学級数の多い学校が順次利用していくので・・・教室が多くある校舎になります。

○ 体育の授業等でスポーツセンターのグラウンドや温水プール利用

スポーツセンターの敷地内での学校生活になります。スポーツセンターとの円滑なコラボレーションを目指していきます。

○ ラーニングコモンズや未来協創空間といった多様な学びのエリアを創設

○ 校舎内は全館空調完備・温水洗浄便座機能完備・冷水器も完備されます。

(自販機も導入予定)

表 彰

陸上競技部 第71回全日本中学校通信陸上競技大会 TOKYO 女子1年100m 第8位 ペン ハディ

第53回北区サマー陸上競技大会 女子中学1年800m 第3位 鈴木 七花

女子中学1年100m 第4位 ペン ハディ

第37回東京ジュニア陸上競技大会 女子1年100m 第4位 ペン ハディ

女子1年800m 第8位 吉村 莉央

女子共通200m 第7位 吉村 希愛

水泳部 令和7年度渋谷区民水泳大会 中学3年男子50m 自由形 第1位 福田 旺成
中学3年男子50m バタフライ 第1位 福田 旺成

バレーボール部 令和7年度他地区交流バレーボール大会 優勝

日	月	火	水	木	金	土
今月の予定 10月			1	2	3	4
			都民の日	もみの木祭 練習始		
	5	6	7	8	9	10
			避難訓練	前期終業式	秋季休業日始 連合音楽会	秋季休業日終
	12	13	14	15	16	17
			スポーツの日	後期始業式	もみの木祭 リハーサル	展示鑑賞
	19	20	21	22	23	24
			振替休業日	歯科検診(3,2)	校内研修会	第2回 進路説明会
	26	27	28	29	30	31
			渋谷区陸上 競技大会			

日	月	火	水	木	金	土
来月の予定 11月						1
	2	3	4	5	6	7
			文化の日		職員会議	教育相談終
	9	10	11	12	13	14
			朝礼 安全指導		定期考查	定期考查
	16	17	18	19	20	21
			生徒朝礼	渋中研		避難訓練
	23	24	25	26	27	28
	勤労感謝の日	振替休日		各種委員会 歯科検診(1,2)	校外学習②(1)	認知症サポー ター養成講座(1)
	30					

佐藤 碧海 教諭 おめでとうございます！

9月26日(金)に第1子となる男の子が誕生しました。佐藤 碧海 教諭は1月7日まで育児休業となります。この間、1年1組の担任は学年担当の副担任が対応ていきます。保健体育科の授業は、後期より代替の教員が配置となります。よろしくお願ひいたします。